

闘いを組織する教宣を！

1979年度 教宣部長会議開かる 3/8



一九七九年度動労千葉教宣部長会議は3月8日、動力車会館で開催され、一年余におよぶ動労「本部」反動分子との組織争闘戦の勝利の経過を総括した。そして、当面する教宣活動強化のために、①右翼的労働統一に抗し80春闘の高揚をかちとる。②「国鉄35万人体制」攻撃に対する闘いへの決起。③3・30三里塚現地集会への大結集と、労農連帯の更なる強化。④佐倉・銚子支部結成の4つを基軸とした、具体的取組みについての意志統一がかちとられた。

80春闘をにらむ教宣活動

1 関川委員長あいさつ

会議は、動労千葉・吉岡教宣部長の開会あいさつで始められ、座長に田中特別執行委員を選出して議事は進められた。

最初に関川委員長より大要次のようなあいさつがなされた。

「80年代は厳しい時代といわれている。しかしこうした時代こそ労働者労働組合の真価が問われる時代だ。春闘情勢の特徴は、支配の側から困難論、企業防衛論が叫ばれもって戦後労働者がかちとってきた既得権の一切をハクダツシ、労働者に窮乏化生活を押しつける攻撃である。組合の側から『8%賃上要求』などと抑えること自体、支配の側の攻撃に屈服するものだ。われわれは、生活防衛、体制変革を根底にすえた闘いとして、80春闘を突破口に80年代を切拓こう。そのために教育・学習活動の強化をつくりだすことは決定的に重要である。各支部は、職場に密着した教宣、闘いを組織する教宣体制をさらに強固に確立しよう。」

支部報告をもとに活発な論議

つづいて、吉岡教宣部長より教宣活動強化のための方針提議が行われた。

- (1) 各支部における教宣活動の点検。
- (2) 教育・宣伝活動の当面する具体的取組みについての報告と討論がされた。とりわけ各支部より『日刊・動労千葉』の配布、活用状況が刻明に報告され、『日刊』の内容のより充実化を要する意見が出された。

また、各支部の情報紙、カベ新聞の発行数は、前年度と比較して前進しているが、いまだ各支部間のアンバランスが是正されていない問題が出された。

その他、多岐にわたる熱心な討論が行われ、最終的に次の事項が確認された。

- (1) 各支部は、機関紙編集委員会体制を確立し定期的機関紙を発行する。
- (2) 通信員制度を再確立する。

日刊
動労千葉

80.3.11

No.372

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二五八〇九(公巻0553272107)



集
動労千葉バッチ
デザイン



闘う動労千葉にふさわしい組合員バッチのデザインを公募します。組合員・家族はどしどし応募して下さい。採用作には賞品あり。

応募先 本部教宣部まで
応募切 3月31日

四街道町議選で、林田候補が当選！

3月2日行われた四街道町議選で、動労千葉推せん候補林田和三郎氏(社・新)が激戦のすえ当選をかちとり、社会党は議席を1名から2名に倍増した。

なお、人口の急激な増加の続く同町は、来年10月に「市制施行」が予定されており、今回の当選者が市議会議員になる。